

タイトル：2025年度 教育セミナー（第21回）

日時：2025年9月18日（木）～21日（日）

場所：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 3階 大会議室（303）

高垣 有輝（九州大学大学院）

今年度の「中東☆イスラーム教育セミナー」では、報告こそ出来ませんでしたでしたが、多くの学びを得る機会となりました。このような機会を設けてくださったAA 研所員、スタッフの皆様にも、まず心より御礼申し上げます。参加前のこまめな連絡や報告者が多いなかでの適切な時間管理も大変印象的であり、今後どの道に進むにしても求められるスキルとして、参考にしていきたいと思います。

私は現在、九州大学大学院でトルコ共和国の政治史を研究しています。しかしながら、学部時代は法学を専攻しており、中東やイスラームについての知識や視座がまだ十分ではありません。そのため、本セミナーに参加する前は不安も感じていましたが、先生方や同世代の大学院生の方々は大変気さくな方ばかりで、些細な質問に対しても丁寧に教えてくださいました。その雰囲気のおかげで、臆することなく自分の意見を発信できたと感じています。また、他の方々の報告はどれも興味深いものばかりで、私には思いつかない方法や視点から研究しており、毎度驚かされる4日間でした。特に、文化人類学やイスラーム経済学といった今まで接する機会がなかった専門の方々の報告は、どれも新鮮で私の研究の切り口を考えるうえで、大いに参考となりました。さらに、報告後の質疑応答では的確な質問や意見が数多く飛び交い、自らの研究に引き寄せて不足点を考える点においても有益な時間となりました。

先生方の講義についても、自身の研究の方法論や着眼点を紹介するものから、研究者として歩む道のを自身の経歴をもとに語るものまで、どれも興味深い内容でした。私自身の研究だけでなく、将来のキャリアを考えていくうえでも大変参考になり、今後の人生を熟考する契機となりました。

さらに、同世代の大学院生との交流を深められたことも大きな収穫でした。研究上の不安や悩みを共有したり、互いの研究について意見を交わしたりする時間は、一人で研究に向かいがちな私にとっては非常に貴重でした。今後も彼らと切磋琢磨しながら関係を築いていきたいと考えています。

最後に、報告後の質疑応答で寄せられる幅広い視点からのコメントや、その後の交流の中で質問を受ける場面は、大変羨ましく感じました。次回はぜひ報告を行い、多くのご意

見を頂戴したいと考えております。研究活動には思うように進まない時期もあるかと思いますが、成長した姿を皆様にお見せできるよう、今後も精進してまいります。